



**日本共産党**

北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/>

E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.212 2012.5.7

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に

**090-2156-3510**

5月5日  
こどもの日

# 全原発が停止

池内さおり12区青年部長と議員団

## 日本共産党が街頭宣伝

こどもの日の5日、北電泊原発3号機が定期検査のため運転を停止し、国内にある50基すべての原発が止まりました。

この日、日本共産党の池内さおり衆院東京12区青年部長と党区議団、地元の党支部・後援会は、赤羽駅西口で「原発から



「原発からの撤退」署名をよびかける池内さおり12区青年部長 5日、赤羽駅西口

日本共産党

## 「原発ゼロ」促進、財界との癒着ない政党だからこそ



赤羽駅西口での街頭署名宣伝

の撤退を求める署名」行動にとりくみました。

半世紀以上前から  
原発の危険を告発

日本共産党は半世紀以上前から原発建設の危険を告発してきました。

1970年代には不破哲三書記局長（当時）が「原子力は未完成の技術だ」と政府を追及。大地震の震源域や活断層の真上に原発を大量建設する計画を告発するなど、「安全神話」に警告を発し続けてきました。



「原発ゼロを」と訴える、のの山けん区議

吉井英勝衆院議員は06年に津波で原子炉の冷却が不能になる事態を指摘。10年には電源喪失による炉心溶融の可能性を明らかにし、政府や電力会社に早急に対策をとるよう求めていました。

原発の危険性をタブーなく追及し、財界が求める「原発＝基幹電源」論にもくみせず、「原発ゼロの日本」を提起できるのも、日本共産党が電力会社をはじめ大企業・財界と一切の癒着のない政党だからです。

4・27日本共産党演説会 小池あきら<sup>党政策委員</sup>らが訴え

# 消費税増税とめる展望見えた

吉良よし子さん



そねはじめさん



池内さおりさん



宮本徹さん



「消費税に頼らない道はある」と訴える小池あきら党政策委員長



4月27日夜、赤羽会館講堂で日本共産党演説会が開かれ、700人が参加しました。  
最初に、のの山けん区議が北区議会で2割の地位を占める党区議団の値打ちを紹介。続いて吉良よし子党都雇用と就活対策室長、そねはじめ前都議、池内さおり衆院12区青年部長、宮本徹党准中央委員が、国政と都政を大もとから

## 「日本を希望ある社会へ導いてください」

切りかえる党の政策を訴えました。  
小池あきら党政策委員長は、社会保障充実と財政危機打開を消費税増税に頼らずに進める日本共産党の「提言」を詳しく紹介しました。  
演説を聞いた参加者からは「増税をくいとめる展望が見えた」「日本を希望ある社会へ導いてください」などの感想が寄せられました。



## 赤羽公園で「絆バザー」



晴天に恵まれた6日、民団北支部と北区日韓親善協会が後援する東日本大震災復興支援チャリティーイベント「絆バザー」が、赤羽公園で開かれました。

参加者は、国際色豊かな模擬店やライブを楽しんでいました。